

平成30年度
第4回堺市堺区区民評議会
会議録

行政資料番号 1-C8-18-0141

平成30年 第4回堺市堺区区民評議会 議事録

開催日時	平成30年 9月27日（木） 午後6時00分から午後7時00分
開催場所	堺市役所 本館3階 大会議室2・3
出席委員	岡田会長、川上副会長、奥野委員、礎塚委員、貴志委員、北野委員 松壽委員、矢本委員、湯川委員
事務局職員	堺区役所 西本区長・泉森副区長 (企画総務課) 大黒課長・山口参事役・藪課長補佐・大仲主幹兼係長 岩野主査・川瀬主査
議 題	1 開会 2 議事 「郷土愛を醸成し、ホスピタリティ豊かなまちづくり」について 3 閉会
資 料	次第、配席図 資料 堺区区民評議会モデル事業

議 事 の 経 過	
発言者	発言内容
	<p>1. 第4回堺市堺区区民評議会 開会</p> <p>2. 議事 「郷土愛を醸成し、ホスピタリティ豊かなまちづくり」について</p>
岡田会長	<p>それでは、堺市堺区区民評議会を開催させていただきたいと思います。これまでの2回、基本的な方向性として確認した3つのテーマに基づき、6月に「地域力の強化」、前回「働きやすい環境の整備」ということで、議論をいただいたところです。</p> <p>本日は3つ目の「郷土愛を醸成し、ホスピタリティ豊かなまちづくり」について皆さんのご意見を賜りたいというところです。</p> <p>早速ですが、この郷土愛の醸成に関連したモデル事業について、事務局からご説明をお願いしたいと思います。</p>
事務局 (川瀬主査)	事務局より、資料 子ども観光ガイド開催の説明。映像視聴。
岡田会長	このモデル事業実施にいろいろご尽力いただいた川上副会長に、ご意見をいただきたいです。
川上副会長	感想というより、あのおりですね。本番に皆さん強かったですね。リハーサルをやっているときには、とてもあんなふうにはできると思わなかったのに、いざその場になったら度胸がついてるというか、それなりのことできていましたから。我々の感覚とはちょっと違う上達の仕方、リハーサルから本番までに3週間ぐらいあったので、相当何か学校でも勉強したんかなど。そんなん誰か聞いてないですか。リハーサルと本番があんな急に変わるというのも。それぐらい変わってましたね。
岡田会長	それは3週間前に学校の授業時間内に副会長が行かれて。
川上副会長	そうです。はい。

岡田会長	<p>そうなんです。当日貴志委員もいらっしゃったということなんですけれども、何かご意見あれば、感想でも結構なんでいただけますか。</p>
貴志委員	<p>大仙小学校の近くって前は大阪女子大があったんですけど、跡地の半分は住宅地になって、新しい戸建て住宅がたくさん並んでいます。多分そこに外から入ってきた、新しく堺に来られた方々がいらっしゃるのかなと思うので、子どもたちも、もしかしたらあまり地元のことを知らない子も多かったんじゃないかなという気がします。とにかく1番というものが間近にあるという強みというのは、いいことだなと思いました。</p> <p>ひとつは教育的な事柄で、いろいろ自分たちで調べたり、グループ討議みたいなことをしてみたり、私の年代が習ってきたような詰め込み教育以外の学習、それを自発的にするというので、私は専門外ですけど、とてもいいなと思いました。</p> <p>題材が地元のことなので、よりいろんなことができる。先ほど言っていましたけど、子どもたちが考えたクイズがあったり、特に古墳について調べたりというところもあれば、周りに目を向けて広く浅く調べてくれて教えてくれるとか、個性も出てましてなかなかおもしろい取組だと思いました。</p> <p>地域のことが本当わかる。わかればわかるほど多分好きになるんじゃないかなと思いました。</p>
岡田会長	<p>そうですね。川上副会長、今回は大仙小学校ということなんですけど他の小学校にも広げていくなど、何かお考えはあるんですか。</p>
川上副会長	<p>広げていくというのはもちろんそうであればいいと思います。実は私はこの区に住んでおらず、今日の午前中は東区の登美丘西小学校で同じようなことをしていました。登美丘西で古墳の話は出ないけども、大美野のロータリーですね。世界に冠たる八つの道路が集中するというロータリー。あの話なんかで盛り上がりまして、あちらの子はそれですね。</p> <p>それともうひとつ、小学校というのは、明治の、1872年に学校の制度ができて、日本中にあちこちに小学校できた、登美丘西小学校がそのなかの学校なんです。日本で最初の小学校の中のひとつ、先ほど言われた「世界でひとつの」というそれと同じことです。やっぱり自</p>

<p>岡田会長</p>	<p>分たちの地元のことに対し、非常に興味を抱きやすいのが小学生だと思えます。そこから入っていったら、どんどん自分の育ったまちに誇りを持てるんじゃないかなと思います。</p> <p>大人はもうそんな感性なくなってるんですかね。同じように何かうまいことできたら。</p>
<p>川上副会長</p>	<p>大人の感性ということは、感性まで言うと難しいですけど、堺区の方、以前にやりましたね。自治会長さんにいっぱい案内してもらったことありましたよね。あれは結構成功しましたよ。最初はそんなできないって嫌がってましたけど、お客様はそのときは一般の人を募集したんですよ。全然知らん人に対して、喋るわ喋るわ自治会長。私らの知らんような昔の話をね。だから案外いいのかもわからないですね。</p>
<p>貴志委員</p>	<p>私も携わったことがあるんですけど、特に堺区は堺の中でも古いまちと言うと怒られるけど、歴史があるところなので、おじいさんの代から住んでる方がまだ結構いらっしゃるんですね。そんな方に話を聞くと、もうそれはそれは子どもの頃の話からばんばん出てくるんですね。古墳から離れると、さすがに古墳のことで郷土愛深めましょうというのは、薄らいでいくと思うんですけど、学校ごとに世界で1番とか日本で1番ではないけれども、誇るものって必ずあるような気がします。北のほうだったら鍛冶屋町のところだとか、もっと内川のあたりの今はもうなくなったけど、こんな環濠がありましたとか、そんなの必ずあると思うんで、もしかすると堺の学校、どこでもできるんじゃないかなと思いましたね。</p> <p>そのときに今は小学校だけでしたけど、地域の方も巻き込むというのもできるんじゃないかなと思いました。</p>
<p>北野委員</p>	<p>子どもさんにこういうことをしてもらおうというのは、すごくいいアイデアだと思います。それで、美術のほうからちょっとお尋ねしたいんですけど、堺市で例えば堺のいろんな古墳に限らず、いろんなところを写生大会してコンクールしてとかいうことを今までなされたことがあるんでしょうかね。私、前にちんちん電車の絵をたくさん描かれたのを何かのときに展示してあるのを拝見したことあるんですけど、すごくよかったです。だから、こういう観光ガイドもいいし、そういう面で子どもさんたちにプライドを持ってもらう試みって、いろんなや</p>

<p>礎塚委員</p>	<p>り方があるんじゃないかなと思いました。</p> <p>さっき美術のお話が出たんですけど、私は大仙小学校出身で、小学校のときに百舌鳥の八幡さんの絵を描くという授業があって、そういうのはやっぱり学校で取り入れてました。子ども観光ガイドというのは何か事後学習とかあったんですかね。ゴールはこの観光ガイドだったんですか。</p>
<p>川上副会長</p>	<p>事後学習はしていません。途中のプロセスで間違いなく頭に残っているはずなんです。その子たちはね。残ってればそれでいいんですよ。必ずどこかで言います。だから例えば東京で学生になっても、どこの出身やねんって言われたら、ひょっとしたら我々のときは大阪ですって言ってたような気がします。それが堺ですって言えるようになればいいなとそのように考えてます。</p>
<p>岡田会長</p>	<p>それでは、引き続いて議事を進めさせていただきます。</p> <p>先だって、フィールドワークで「郷土愛の醸成」のテーマで訪問した「妙法寺（堺 a s o b i）」、現地での視察内容やご意見・感想を松壽委員にご報告をいただきたいと思います。</p> <p>それでは、早速よろしく申し上げます。</p>
<p>松壽委員</p>	<p>まず郷土愛の醸成について。堺 a s o b i の概要というのが、どういったものかという、堺区役所企画総務課と市民活動団体 E x c i t t i n g S A K A I が協働し、大道筋のにぎわい創出や活性化を図る公募提案型の協働推進事業で、堺区区域内に数多く存在する歴史文化資源を活用したイベントプランニングを実施して、事業者や買い物客、観光客などの増加を目的としています。同プロジェクトは、堺区中之町にある妙法寺という創建1343年を舞台に堺を感じる食事や、体験などを提供しています。</p> <p>内容については、妙法寺さんのご住職によるお話「堺とお寺の歴史について」や泉州の食材を使った四季を彩る「茶香い（さかい）弁当」ですね。フィールドワークのときは、ほうじ茶をおいしくいただきましたが、お茶を提供しています。</p> <p>広間に展開するのが、堺と大きく書かれているんですけども、その後には堺の海を感じさせるようなプロジェクションマッピングが行われていました。1日限定10組で、週末のみ開催しています。</p>

堺 a s o b i の今後についてを、この E x c i t i n g S A K A I の副代表阪口さんに聞きました。そうすると堺は歴史的にもとても古くて由緒のある神社仏閣があります。そんな歴史あるお寺でゆっくり、粹に優雅に時間を過ごしていただいて、おいしい御飯と堺のお茶を楽しんでほしいと。さらに、ふだんのお寺の一室とは装いを変えて、非日常の別世界を表現したかった。これからも、味覚、視覚、聴覚、嗅覚、触覚の五感全てを味わえる企画を楽しんでいただきたいとのことでした。そして、今後の展開としては、妙法寺だけで堺 a s o b i が完結するのではなくて、他の寺院や施設とも連携しながら遊びの範囲とか、規模というのを広げていければおもしろいことになるのではないのではないかという感じでした。

所感としては、百舌鳥古墳群の平成30年世界遺産登録に向けて、産経webニュースの2018年9月1日記事、つい最近なんですけれども「堺市観光客初の1000万人。古墳群人気で7%増」というニュースが出ていました。観光客が増加傾向にある中で、おもてなしを担うスポットというのが増えたのはすごく重要なことだと感じました。

そして、堺区民の郷土愛の醸成を高める方法で重要なのは、堺市以外の人に堺のことを評価してもらうこと、認めてもらうことというのが何よりも重要なのではないのかというふうに私は考えました。

観光客が堺のホスピタリティに満足し、来てよかった、おもしろいまちだったと発信してもらうことで、結果的に郷土への魅力の再発見、ひいては郷土愛を高める結果へとつながるのではないかと考えられました。

そこで、私この所感を書きながら少し疑問というか、自分の中でちょっと疑問を感じて、そもそも堺市民って郷土愛とかシビックプライドとか、そういったものって本当に高いのかというところにちょっと疑問を感じたんですね。ちょっと調べていくに、おもしろいアンケート調査結果があったので、ご紹介させていただきます。

住民が愛着や誇りを強く感じている都市はどこか、住民のまちに対する思いを数値化した市民のプライドランキングというものがありました。調査会社が三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社。2017年6月14日に結果が公表されています。堺とは関係のない民間会社の調査というところに価値があるのかなと考えています。

調査趣旨としては、政令指定都市と東京都区部の21団体の住民を対象にアンケート調査を行い、自分が暮らしているまちに対して感じている愛着や誇り、働く、子育てする、デートするなど生活のさまざま

な場面におけるまちのお勧め度合い、にぎわい、美しさ、そのまちの魅力をあらわすキーワードに関する共感度合いなどをランキングしています。

調査結果については、自治体のブランド形成のための参考資料として、まちの魅力やポジション、自分たちの立ち位置の把握に活用していただき、同様の調査を他の自治体でも実施し、比較分析すればそのまちの魅力やポジションの把握に活用いただけるということで、この調査をされたみたいです。

アンケート結果1として、「都市に対する愛着と誇り」、質問「現在お住まいの都市に愛着や誇りを感じますか」という堺市の部分の結果なんですけれども、21あるなかで堺市は18位です。誇りについても17位になっています。「愛着ー誇り」って書いてあるんですけど、これが12位です。

堺市民は地元に対して愛着や誇りというのは、他の政令指定都市に比べて低い傾向にあるのではないのかというのが、数値として出ています。この愛着や誇りが低いということを前提にした、アプローチや企画というのを考えていかなければいけないのかなというふうに考えています。逆に愛着とか誇りがものすごくあふれている前提のコミュニケーションというのは、むしろ無視されてしまう結果になるというのが、この結果から考えられるということです。

アンケート結果2なんですけれども、「都市のお勧め度合い」というのがありました。「現在お住まいの都市について友人・知人に勧められますか」ということです。堺市の結果としては、「全般的によいまちであること」が21位。買い物、遊びなどに訪れること20位、住むこと20位、働くこと20位、子育てすること20位、アフターファイブを楽しむこと21位、いろいろな人と交流を深めること18位、趣味や教養を深めること19位、デートすること21位、多様性があること18位。結構厳しい結果になっています。堺市民というのは、地元を友人・知人に勧めることは現状ちょっと難しいと考えている人も多いということです。しかし、新スポットや施設をつくるというのは難しく、市民から同意を得るのは難しいなというような考えです。施設などではなく、やはりシティ・プロモーション、何か魅力的な何かという企画というのが必要になってくるんだろうなというふうに思いました。

堺市民以外の人にお勧めできる企画や参加できる施策で、堺がおもしろくてわくわくするまちと感じてもらう必要があるなというふうに、感じました。

アンケート結果3は「都市のイメージに対する共感度合いトップ10」です。「現在お住まいの都市に当てはまると思うイメージを全て選んでください」とあり、堺市の結果は伝統的というのが3位、地味というのが9位にランクインしていました。他の「近代的」、「保守的」、「ゆったりした」、「カオス」、「にぎわいある」、「落ちつきある」、「ハイセンス」、「国際的」、「日本らしい」、「成長」とかというようなイメージのワードに対しては、全てトップ10には入らなかったということです。堺市民は地元を、伝統的で地味というふう考えている、ゆっくりしたとか、そういったところもちょっと入ってきていたと思います。

伝統的なものがあるというのは、共感できるポイントで伝統的なものは地味ととらえるのかもしれないですし、いろいろな考え方があると思います。地味というのは、地味からの脱却したいという気持ちもあらわれているのかなというふうにも感じました。

そこで、伝統的というのは、みんなが共感できるポイントでもありつつ、それにプラスアルファ何かつけ加えた企画でまた新しいような、何かを考えるというような企画というのが必要なのではないのかと思いました。

続き、「都市のイメージに対する共感度合いトップ10」で、さらにまた「当てはまると思うイメージを全て選んでください」の堺市の結果は、ワードとしては、「停滞」5位と「レトロノスタルジー」6位という、何か郷愁とかそういったもの。その他の「美しい」、「おしゃれ」とか、「ロマンチック」、「エネルギー」、「ほどほど」、「便利」は全て圏外となりました。

堺市民は地元を停滞しているとやっぱり考えているかと思います。さらに何か郷愁を感じるとか、あとはレトロなものを感じるまちとして捉えています。これはどういうレトロなのかというふうにと考えると、大正レトロとかそういうことではなくて、恐らく昭和レトロなのかなと感じました。昭和や歴史を感じさせる懐かしさが残っている反面、停滞から脱却して成長してほしいという願いというものも、恐らくここにはあらわれているんだろうなと考えました。

アンケート結果から必要な施策とか、方向性の所感としては堺市民の地元に対する愛着や誇りというのは、現状ではやっぱり低いと考えるを得ないかと思います。ゆえに愛着や誇りがあふれている前提のアプローチや施策、コミュニケーションというのは失敗する可能性が高いと思っています。これはすごく心理的な話なんですけれども、確証バイアスというような話がありまして、自分の仮説や信念とか、検

証する際にそれを支持する使用法ばかりを集めてしまうという傾向があるんですね。反証する情報というのを無視する。もしくは集めないというような傾向がある。だから堺市とかが普通の一般の市民に対して、誇りある〇〇とか、世界に誇る〇〇とか、愛情あるとか言ってしまうとそれは確証バイアスにひっかかってしまって、無視される傾向が高くなるおそれがある、そういう結果になっているんですね。愛着とか誇りというのは、おそらく低い。それをどうやっておもしろがらせるのかというそういうアプローチというのを考えていく必要があるのではないかなというふうに思いました。

堺市民以外の人にお勧めできる企画、呼びたくなる企画、一緒に参加できる施策が必要と。堺がおもしろくてわくわくするまち。伝統的なものがある。古墳群とか、刃物、自転車、茶道などがあるというのは、堺市民全体が共感できるポイントだと思います。この区民評議会でも出てくるのって、古墳とか刃物、自転車やお茶など、そういったものってすごい共感できるポイントだと思います。ただ、これに伝統的なものは地味というふうに考えてる人も結構多いんだなというふうに思ってます。可能性や地味から脱却したい願いが込められてるんじゃないのかなと思いました。伝統的と感じるコンテンツにプラスアルファつけ加えたら、何かおもしろいのはあるのかというような考えができます。昭和や歴史を感じさせる懐かしさが残っている反面、停滞から脱却してほしいという願いからランクインしたと仮定できると。

堺市民の感情と合致した施策というのが、やっぱり必要なのではないのかなと思えます。この感情に寄り添わない企画というのは、共感を生むことができなくて、郷土愛の醸成につながらないのではないのかなというふうに考えました。

具体的施策の考え方については、堺市民の感情プラス大阪人のイメージというのをつけ加えるのも大切ではないか、広く見てみたというのも重要なんじゃないのかなと思いました。

堺市以外の観光客を呼ぶためには大阪の中にある堺というのを意識する必要があって、これを意識しないとニュースバリューにならないんですね。大阪の中の堺というのを言わないと、大阪に何かおもしろいことがありました。それもしかかも堺ですというようなニュースのされ方で、県外の方は堺のことってあまり知らないですね。大阪の周辺都市としての意識しかない。つまり大阪人のイメージにも合致した企画でないと、観光客側の感情に受け入れてもらえないというよう

な状況なるかもしれない。だから大阪人のイメージに合致しつつ、堺市固有の観光資源をプラスすることで個性というものが、どんどんと出せていくのではないかと。

大阪人のイメージってどうかというのが、2013年に@nifty編集部というところが出してるアンケート調査で、結局結構ステレオタイプな意見が多いんです。大阪人のイメージって。「おもしろい」とか、「ノリがいい」、「突っ込み上手」、「値切り上手」、「けち」とか、「声が大きい」、「標準語嫌う」、「パワフル」、こういうステレオタイプな回答が多くて、大阪というのは既にブランドが出来あがってるということですね。

だから、堺市民の感情と堺固有な観光資源と大阪人のイメージですね。こういう上記三種の要素が組み合わさってシティ・プロモーションというのが、企画というのが成立するというふうに私は考えています。

あくまでも堺市区とか、シティ・プロモーションする場合の考え方で、個別のお店がすごいおしゃれなことやったとかというのはすごくいいことで、NPOさんとかが、すごくおしゃれなこととか、アートとか、そういったことに対してはこれには当てはまりません。単純に市区が行うことに対しては、すごく拒絶反応起こされることだってあるんですよということは感じました。

この前ちょうど区民評議会するとき、一言だけ言ってたママチャリレースやったらとか何かそんな話をしていたと思うんですけども、それがどういう考え方からそういうふうになったのかというと、本当に一例なんです。これをやりたいとかいうつもりは全くなくて、具体的施策例として堺市民の感情と堺固有の観光資源と大阪人のイメージ、それからひとつのテーマというのを仮に抜き出したらどうなるんだろうというような考え方なんです。それが自転車というような、自転車を仮にひとつテーマを抜き出したら、このひとつのテーマの中に堺市民の感情として「伝統的」とか、「停滞」「地味からの脱却」「歴史性」、堺固有の観光資源としては、やっぱり「自転車」というのもあるし、「おもしろい」「ノリがいい」って大阪人のイメージですね。「値切り上手」とか「けち」とか「パワフル」などのキーワードが内在する企画というのが、必要になって一例を提示すると「激走ママチャリレース～1円の米を求めておかんたちは走り続ける」みたいなそういう何か企画に落とし込まれていくようなというような考え方でした。

開催概要は、おかんたちが日ごろスーパーのお値打ち品を誰よりも

先に購入するため、鍛えたママチャリの脚力、その中でも日本で一番速いママチャリレーサーは誰なのかを決定するレース企画です。

場所としては、大仙公園とか、そこから堺区外周から堺の旧市街内を周遊するコース設定とかで約30キロ想定とか、ママチャリの平均時速14~20キロなんで約1時間か2時間ぐらいの所要時間。開催時期は春で、開催部門はおかんの部、おとんの部、子どもの部とか、さらに変速ギア有無の部門分けとか、賞品は優勝賞金30万と1円です。副賞は米俵3俵、何でもいいんですけども、けちなイメージとか、何かいろいろ大阪人のイメージ何か値切りに対して主婦がすごく走ってるとか、そういうアイコンって全国的なアイコンになっていると思います。もう全国的にもうみんなが認知できることなのです、誰でも。しかもこういうイメージとか、全て観光資源とかを巻き込んだものというのは、堺にしかできない。横浜でこんなことやってもみんな共有できないというか、横浜はおしゃれとかそういうのが出てくるんで、なかなかこういう企画というのはできないというところで、堺とか大阪というのがメインにこういうことができますよという一例です。

開催コース案とか別にこれは大仙公園から海とのふれあい広場とか、旧堺燈台とか観光地とか、あとは大道筋の活性化がこの目的だったので、大道筋のストレートの部分とか、広いところにこういうところに出店が出たりとか、大仙公園のところに物産展やってるとか、こういうのはひとつの祭りなのでこういったものがあれば、堺というのも盛り上がるんじゃないのかなというふうに思いました。

堺のママチャリレースを県外の人に浸透させるためには、さらに全国的なニュースバリューというのにも必要になってきます。例えば全国初の取り組みがあるとか、イベントの収益金によって市民税を引き下げようとする取り組みは全国で初めて実施されましたとかのそういったニュースバリューというのがあれば、全国的にも堺というのがアピールできます。あくまで一例ですが。

まとめとしては、堺市民の感情と堺固有の観光資源と大阪人イメージというのを組み合わせると結構おもしろい企画というのも出てくるんじゃないかというふうに思いました。

堺が周りの人から全国的に認められたときに、郷土愛の醸成というか、堺って本当はおもしろいやなとか、周りの人が言ってくれる堺の人たちでも気づかなかつたけれども、堺っておもしろいんだねというふうに周りの他府県の人たちが認めてくれることでも、郷土愛というのも醸成されるのではないかというふうに思いました。

<p>岡田会長</p>	<p>以上です。ありがとうございます。</p> <p>ありがとうございました。前半は堺 a s o b i の概要についてお話をいただいて、後半は三菱のデータを使って松壽さんなりのご意見をいただいたということかと思います。</p> <p>なかなか調査データというのは、取り扱いというか、分析の切り口が難しく、例えばこれひとつとってもランキングが上であればいいのかということそうではない。それぞれの都市が切り口というか、売りにしているものがその都市にとってこの項目が上であれば、それはそれでいいでしょうけれども、エネルギーッシュというところで京都が上にくるかってそれはなくて、やっぱりそれはそれぞれの都市の持ち味がランキングの項目に合致してれば、それと合わさってればそれはそれで評価されるんでしょうけれども、なかなかおもしろいお話だったかと思います。</p> <p>ちょっと事務局から補足をさせていただきます。</p>
<p>大黒課長</p>	<p>この三菱の調査等うちのほうでも把握はしておりまして、私も企画部で統計をやった頃にはいろんな調査会社の調査というのを見せていただいて、やっぱり政令市比較でいうと後発都市なので、堺市や同じく後発の相模原市は後ろのほうに、五大市と違ってあるというのが実態でございます。</p> <p>ただ我々のほうとしましても、いろんな切り口で子育てで府内ナンバー1になりましたとか、市長からも高齢者に優しいまちとか、そういう様々なデータがありますので、今回ご紹介いただいたデータというのもひとつのデータでございます。会長からもご指摘いただいたようにさまざまな角度があるということなので、そのあたりは傍聴の方もおられますので、誤解のないように補足をさせていただきました。よろしくをお願いします。</p>
<p>岡田会長</p>	<p>ありがとうございました。前半のほうで堺 a s o b i のほうで五感を全て味わせる企画で、阪口さんですかね。お話があったみたいで、何かこれもう少し具体的にどういう感じでお話しされてたというか、実際の取り組みとしてはどういうことがあったりしたんですかね。</p>
<p>松壽委員</p>	<p>空間を利用して何があったかという、プロジェクションマッピングとあとは堺の屏風が用意されてあったり、デザイン性が豊かという</p>

<p>岡田会長</p>	<p>か、入った瞬間に伝統的なそういうお寺の地味な感じというか、特に何もないような感じではなくて、彩り豊かにしてる、色彩豊かにはしてる場所がおもしろいなどは思いました。</p> <p>あとは筆が置いてありまして、その筆で来ていただいたときの感想を一文字であらわすと何になるかを書いてもらって、その紙をお持ち帰りいただくとか、そういったことが行われてました。</p> <p>あとは、お客様をお迎えするホストが全てをおもてなししてくれるようです。</p> <p>堺 a s o b i は、あえて伝統とか地味とか、先ほどの調査でいくとネガティブ項目になっちゃうのかもしれませんが、あえてそこを売りというか、切り口にしてそれを鮮やかに見せたりとか、別の切り口で人に楽しんでもらうみたいなことをされてるといふか、企画されてたんですかね。そこら辺はやっぱそういう意図があったりしたんですか。</p>
<p>松壽委員</p>	<p>実際、それを意識して作られてると思います。伝統的というものにプラスアルファで何かこうおもしろいもの、最先端なものをつけ加えて今までのそういう脱却といふか、それだけではなくてお寺というものを生かしながら、空間も生かしながらどういったふうに新しく見せていくのかといふのは、すごく考えながらつくられたのではないのかなといふふうには思いました。</p>
<p>川上副会長</p>	<p>以前に一度、これ見せていただきまして、どうなんやろうと。裏話も聞いてしまったので、そうじゃなくて何にも知らない人に見てほしいと思ひましてね。土日のみの開催ということをもう無視して、10月5日にやってもらうことにしました。それは全国の30代、40代の女性9名を集めて、その方々にはどこで何をするも何も言っていない。そういうツアーをつくりました。予約は即日満杯になったんですよ。10月5日に朝から晩まで堺を案内して、その中にこれを盛り込んで、終わった後でいろんなことを聞いてみたいと思ひんですよ。</p> <p>参加者はむちゃくちゃ発信力の強い人ばかりなんで、また、終わったら報告できるんじゃないかなと思ひます。</p>
<p>岡田会長</p>	<p>ありがとうございます。何かご意見といふか、感想でも結構ですので、いかがでしょうか。</p>

<p>奥野委員</p>	<p>松壽委員のおっしゃっていたアンケート結果は、私も見たことがあるんですけど、やっぱりさいたま市とか相模原市とか後発の政令市とよく似た結果になってて、堺市の発信力の無さみたいなのが出てるなと思いました。</p> <p>自転車のレースは堺でツアー・オブ・ジャパンの堺ステージがありますし、確か堺浜でクリテリウム大会もやってるんですよ。でもなかなかマニアックなもので話題になりにくいというのと、あとロードレース自体が世界であまり全然流行っていないので、こういう感じのビギナーでも見て、ガチャガチャできるようなイベントって本当にすぐやればいいんじゃないかなと思いました。</p> <p>大阪って自転車の保有台数が世界で一番多いと言われてて、こういう大阪人といえば自転車というイメージもありますし、あとはコースは、堺って街道がいっぱい走ってますから、竹内街道で奈良のほうに行くこともできるし、石川サイクルラインという南北のラインもありますし、大和川とかもあるのでそういうコースの提案というのができたら、そうやって堺市のほうでも散走というのをやってますけど、イベントじゃなくてみんながやるようになったら、地元にあるいろんな史跡とか見ることになりそうですし、郷土愛に少しずつなっていくんじゃないかなと思いました。</p>
<p>岡田会長</p>	<p>ありがとうございます。7時から委員の皆さんで意見交換会があるので、このあたりでこの議論は終わらせていただきたいと思いますが、いろいろご意見をいただいたわけですけれども最初の「子ども観光ガイド」というところでいうと、授業や一方的な知識の伝達だけでなく、副会長もおっしゃってましたけれども子どもの感性というところから経験とか、体験というところから入っていくと、子ども自身もいろんな気づきとか、学びというものがあって、それがシビックプライドや郷土愛の醸成とつながっていくと彼ら自身の成長にもなるし、それがまた受け継がれていくといろんな展開も見えてくるのかなと思いました。</p> <p>北野委員のお話にも、礎塚委員のお話にもありましたけども、必ずしもそれは古墳群でなくてもアートであったりとか、それこそ大美野のロータリーでもいいんでしょうけれども、本当に自分たちの生活圏の中で愛着とか、愛情が持てるようなものが中心にあれば、そういう郷土愛の醸成というところにつながるんだろうとはひとつのヒ</p>

<p>岡田会長</p>	<p>ントなのかなというふうには思いました。</p> <p>先ほどの松壽委員のお話でいうと、いろいろお話をいただいたんですけど、端的にかかわってるところがあって、堺市民の感情と合致した施策をつくる必要がある、本当にそのとおりであり、そこと乖離すると全く意味のないことになるんだろうと思います。この感情に寄り添わない企画というのが、共感を生むことができなくて郷土愛の醸成につながらないというのが、そのとおりだと思うので、基本的にはこの考え方をベースとしていろんなことを考えていかないといけないんだろうなというふうには思っています。</p> <p>皆さんからいただいた意見をもとに今後、審議経過報告や答申案につなげていきたいと思っています。</p> <p>3. 第4回堺市堺区区民評議会 閉会</p> <p>それでは、時間になりましたので、平成30年度第4回堺市堺区区民評議会を終了いたします。</p> <p>午後7時より引き続き、堺区選出議員の皆さんとの意見交換会を開催させていただきます。</p> <p>本日はどうもありがとうございました。</p>
-------------	---

堺区選出市議会議員と堺区区民評議会委員との意見交換会 議事録

開催日時	平成30年 9 月27日（木） 午後 7 時00分から午後 8 時00分
開催場所	堺市役所 本館 3 階 大会議室 2 ・ 3
出席委員	岡田会長、川上副会長、奥野委員、碓塚委員、貴志委員、北野委員、松壽委員、矢本委員、湯川委員
堺区選出市議会議員	井関議員、上村議員、大毛議員、成山議員、西村議員、湊上議員
事務局職員	堺区役所 西本区長・泉森副区長 (企画総務課) 大黒課長・山口参事役・藪課長補佐・大仲主幹兼係長 岩野主査・川瀬主査
議 題	1 開会 2 意見交換会 3 閉会
資 料	次第、堺区選出市議会議員名簿、堺市区民評議会委員名簿、配席図 資料 平成30年度審議の経過 参考 意見交換会（8月30日開催）主な意見

議 事 の 経 過	
発言者	発言内容
	<p>1. 堺区選出市議会議員と堺区区民評議会委員との意見交換会 開会</p>
大黒課長	<p>ただいまから堺区選出市議会議員の皆様と区民評議会委員の意見交換会を開催いたします。</p> <p>条例に基づきまして、この会議の記録、写真撮影、録音等させていただいて、議事録につきましてはホームページの掲載、市政情報コーナーへの配架等をさせていただきますので、よろしくお願いいたします。</p> <p>なお、本日は市議会議員の方のうち、公明党の裏山議員とソレイユの山口議員につきましては、他の公務がありますのでご欠席、区民評議会委員は木下委員、隈元委員、小池委員、間宮委員が所用のためご欠席ということでございます。よろしくお願いいたします。</p> <p>傍聴は2人いらっしゃってます。</p> <p>それでは、岡田会長に議事の進行をお願いする前に、出席者の方の自己紹介をお願いしたいと思います。まず区民評議会の委員の皆様から順番に自己紹介、お名前のほうをお願いしたいと思います。</p>
岡田会長	<p>会長を仰せつかっています関西大学の岡田と申します。本日はよろしくお願いいたします。</p>
川上副会長	<p>副会長をしております川上浩です。NPO法人堺観光ボランティア協会の理事長をしております。</p>
北野委員	<p>北野庸子です。堺市の山之口商店街でギャラリーいろはにという画廊を経営しております。</p>
貴志委員	<p>貴志と申します。去年まで錦綾校区の自治連合会長をしておりました、今は一歩引いたところで外から眺めたり、中に入ったりしております。</p>
碓塚委員	<p>公募委員の碓塚すずなです。地元は堺ですけど、大学は今和歌山に通ってます。今日はよろしくお願いいたします。</p>

奥野委員	堺市北区在住のライターの奥野です。よろしくお願いします。
松壽委員	公募で応募させていただきました松壽謙宜と申します。堺の福成寺というお寺でただいま従事させていただいております。よろしくお願いします。
矢本委員	堺東駅前商店街で理事長をしています矢本です。よろしくお願いします。
湯川委員	NPO法人SEINの湯川です。よろしくお願いします。
大黒課長	では井関議員のほうから順次、自己紹介をお願いします。
井関議員	井関と申します。よろしくお願いします。
上村議員	大阪維新の会の上村と申します。よろしくお願いいたします。
大毛議員	こんばんは、ソレイユ堺の大毛と申します。よろしくお願いします。
成山議員	公明党の成山です。どうぞよろしくお願いします。
西村議員	自由民主党の西村です。
湊上議員	ソレイユ堺の湊上です。よろしくお願いします。
大黒課長	最後に、事務局のほうのご紹介もさせていただきます。 まず、区長の西本でございます。
西本区長	よろしくお願いします。
大黒課長	副区長の泉森でございます。
泉森副区長	よろしくお願いします。
大黒課長	私、先ほどから司会させていただいております企画総務課長の 大黒でございます。よろしくお願いします。

	<p>それでは、意見交換会を始めさせていただきます。ここからは、岡田会長に議事進行をお願いしたいと思います。</p> <p>2. 意見交換について</p> <p>議員の皆様には、本日はお忙しいところ意見交換会にご出席いただきまして本当にありがとうございます。改めまして、堺区民評議会会長の岡田と申します。</p> <p>本年度は、前回の8月30日と今回の2回にわたり意見交換会をさせていただいております。中間報告で示した3つの方向性、「地域力の強化」「働きやすい環境の整備」最後に「郷土愛の醸成」という、本日のテーマになりますが、このテーマに基づいて議員の皆様と意見交換ができたかと考えています。また、議員の皆様自身が日常の活動の中で感じられている地域での課題などについても、3つのテーマに沿った形でご意見をいただきたいと思っております。</p> <p>本日は、先ほどの審議内容だった「郷土愛の醸成」を中心にご意見をいただけたかと考えておるところですが、前回、ご欠席の議員の方もいらっしゃるかと思いますので、他の2つのテーマについてもご意見をいただけたらというふうに思います。</p> <p>進行としましては、前回の振り返り、前回の意見交換会でいただいた意見などについて事務局から説明がございます。その後、議員お一人お一人から二、三分程度でテーマに沿ってご意見をいただけたらと思っております。その後、区民評議会の委員と議員の皆様とで意見交換をさせていただくというふうに段取りを考えているところです。</p> <p>それでは、事務局のほうから説明をお願いしたいと思います。</p>
<p>事務局 (川瀬主査)</p>	<p>事務局より、審議経過と前回の主な意見を報告</p>
<p>岡田会長</p>	<p>それでは、井関議員からご意見承りたいと思います。よろしくお願ひします。</p>
<p>井関議員</p>	<p>こんばんは、井関と申します。</p> <p>今日は郷土愛ということでしたけど、先ほどの区民評議会での松壽委員の報告が興味深い。民間の金融系リサーチ会社での調査ということで、これをどう考えるかというのはいろいろな見方があるかと思ひ</p>

	<p>ますが、何か他人の目というか、他都市からというか、皆さんも漠然と感じられているかと思います。例えば東京から見ると堺というのは大阪に隣接していることも知っている人はおそらく半分以下ぐらい、むしろ岸和田に隣接していると思っている人のほうが多いかなというのが僕が東京で大学時代を過ごした実感ですし、やっぱりなかなか難しいというか、発信力がない点は私も感じてます。東京に比べれば大阪に発信力がないとはいえ、やっぱり大阪市内のこととか、大阪全体のことイメージというのはそれなりに発信力があるのに対して、堺のことというのは発信しようと思うと大阪に記事書いてもらえとか、大阪のノリに合わせないと書いてもらえないというのはすごい実感します。大阪に対しても少し独自性があると僕自身は堺で感じてるし、そこに一定の誇りとか愛着とかプライドみたいなものもある、僕は持っていますし、そういう方もおられると思うんですけど、それを伝えることはすごく難しい。となると、何か個別のものを1個1個伝えるというのはもういいかなと。それは活動されてる方にお任せして、行政であったり全員で取り組むことについては、むしろ、そういった堺の立ち位置みたいなもの、もちろん関西でありますし、政治の中心の東京よりは経済であるし、実利主義だし、少し垣根が低いというようなそういう関西なり大阪のノリであるけれども革新的なというか、堺が持つような伝統というのか、伝統も革新を続けてきたから伝統が残ってるみたいな、そういうイメージだけを伝えるほうがやりやすいんじゃないかなというのは昔から思っていて、それぐらいの緩やかなところでイメージをまとめたほうがいいんじゃないかなとずっと思っています。</p> <p>海外で言うと、イギリスの例えば、スコットランド、イギリスではあるけれどもやっぱりエジンバラ、そこは伝統があって革新があって新しいこともやってて、金融機関もそこにあるし、ロンドン以外のもので。そこから投資しているのは主に北海地方であったり北欧であったりというような、ロンドンが持つ金融機関とは違うようなことをしている。そんなふうなことを思っております。</p> <p>以上です。</p>
岡田会長	ありがとうございます。続きまして、上村議員お願いいたします。
上村議員	こんばんは、大阪維新の会の上村です。 きょうは郷土愛の醸成とホスピタリティ豊かなまちづくりというこ

	<p>とで、まず、区民評議会では皆さんのご意見とかを聞かせていただきました。</p> <p>皆さんが思ってるように、ホスピタリティの醸成ということで、今までのように観光資源とかハード整備みたいなことではもう難しい。観光とかそういうことは難しい状況になっている中、今度はソフト面、先ほど子どもたちが大仙公園とかで観光ガイドをするとか、堺 a s o b i のような五感を感じていただいて、今までのハードとソフトが融合したようなこと、こういったことが今後の観光には非常に有効だということは私も同感でございます。こういったことがどんどんと一つ一つ町の中でできてはいるんですけども、今後はそれをしっかりとつなげていって、それをつなげていくことに対しては今度は行政なり、観光コンベンションとかがしっかりと堺区から堺市へ、そして堺市から大阪府へ、大阪府から日本全国に広げていくことのほうが重要であるのではないかな。ここが今できてないからこの調査でもなかなか堺は、これ多分、堺市全体でとってるので、堺区の中ではとってないので、堺区の人ってこういった誇りとか伝統とか非常に重んじてるので、この中で堺区の中では非常に高いはずなんですけど、堺市全体になれば低い状態になっているということは、やはり区よりも堺市全体の中ではなかなか難しい状態になってるのかなとも思うので、今後は広く広報していく中では行政なり、コンベンションというものがしっかりと機能してつないでいくという役割をしていけば、堺市はもっと、いい観光資源があるので広がっていくのではないかなと思っております。</p>
岡田会長	ありがとうございます。では続きまして、大毛議員お願いします。
大毛議員	<p>ご苦労さまでございます。</p> <p>前回は欠席してしまって大変申しわけなく思っております。</p> <p>今日は郷土愛、ホスピタリティ豊かなまちをめざすというような形の中で、ひとつ、先ほど最初の松壽さんのほうからの説明を十分聞きながら、いろんなアンケートの結果を見ながら、哀愁や少し暗いイメージが何か残ったような気がしてるんですけども、決してそうではないんだろうなというふうに思ってます。</p> <p>やはり、リサーチ結果は政令指定都市になった順番どおりの評価が出ている、要するに我々15番目の昇格でございましたんで、そのような評価が何かこう政令指定都市にならずと観光の、あるいはこう</p>

	<p>いうホスピタリティや感受性、そういうものもちょうど同じようなレベルにあるかなと思ったりする。やはり歴史かなと思います。</p> <p>今、仕事をしながら、クボタ入社1年目の研修生の日記にコメントを書かせてもらう機会があります。彼らも全国から堺に来て、堺市というものを、初めて知る。そして、高校を出たばかりの本当に純真な考え方、真っ新たな感覚で見て、堺市ってすごいねという。やはり自分の働いている堺市というまちに誇りをもちたいというような気持ちで、彼らは日々仕事に取り組んでいるように私は思います。</p> <p>日記の中で、休みになったらどこに行きますかといったら、堺市はある程度、この4月に入社して半年くらい見てきた。最近神戸に行ってきました。神戸ってすごいよねってまたこう言っている。やっぱり神戸にはすごくにぎやかできれいなまち、というようなイメージを抱いて訪れる。それじゃ食べるものもおいしいおいしいとみんなが言うもんですから、そういうようなイメージで食べるとやはりおいしい。斬新な気持ちでそういうようなことを日記に書いてくれています。堺市もそういうような何か、みんなが誇りに思えるようなホスピタリティとかおもてなしが本当にできているんだろうかなということ時々考えています。</p> <p>やはり人対人のおもてなし、あるいは自然と人のおもてなし、そういうようなものがしっかりと形成されているのかどうかということ時々感じる。だからそういうことをしっかりと、今説明をいただいたこのランクづけの中でも感じながら、これからも、やはり一番の歴史の古いまち、歴史のあるまちをどうやってこれからPRしていくかと。大きく自信を持って堺市民が生んでもらうということにつながればなと思っていますので、今後ともよろしく願いいたしたいと思います。</p>
岡田会長	<p>ありがとうございました。</p> <p>それでは引き続きまして、成山議員にお願いしたいと思います。</p>
成山議員	<p>成山です。よろしく願いいたします。</p> <p>前回もお話しましたが、この頃の来訪者は知的な欲求を満たしてくれるところを期待して海外からも来る。中にはおいしいものを食べる、ショッピングを楽しむということもありますが、これから大事なのは楽しく深くというか、楽しんでなおかつ深い、何かぐさっとくる、感動するものがあると。楽しかったら、ふっとまた次の日忘れまされ</p>

	<p>ど、深く感動したものはもう一度あのまちに行って感動してみたいなということが起こってくると思います。私は、堺がこれからは、常日頃キャッチフレーズで言うてるんですけど、やっぱり文化と感動のまち堺と、この文化とその文化に触れる、また、食べることもグランプリが開催される和菓子も、そういうことも含めて感動するということが非常にこれからのキーワードになるのかなと。感動というのはやっぱり知的な要求が満たされることも感動につながっていくので、私はこれからの堺は、この強みを堂々と主張していくべきだと思います。</p> <p>だから、大道筋のあの幅のあるメインストリートは、私は政令指定都市にはさまざまなまちがありますが、あれだけの道があるのは堺だけと思っています、そういう強みを堂々と発信していくことが大事かなとこのように思います。</p> <p>郷土愛につきましては前も提案があったと思うんですけど、各校区ごとの郷土史や文化財、そういうのを子どもたちと一緒に探索しながら、「あ、ここにこんながあったよね。」と、そういうことで簡単かたちでまとめて、小学校でまた勉強していくということが大事かなと思います。私の家の近くでも、反正天皇陵のところの横にも小さな古墳があるんですよ。鈴山古墳ですかね、その横をこの古墳が一体いつの時代でどうなったか全然知らずに歩いてるんですよ。だから、子どもたちと一緒に、「あ、このこんな、ここは歴史はどうなんかね」とか言いながら勉強していく機会というか企画があれば、次の世代の子に郷土愛が引き継がれていくのではないのかなと思ったりします。</p> <p>以上です。</p>
岡田会長	<p>ありがとうございました。</p> <p>それでは、西村議員よろしく願いいたします。</p>
西村議員	<p>西村でございます。</p> <p>郷土愛という1つのテーマをいただいているのですが、我々はちょうど30年ほど前から、第二のふるさとである堺を、楽しい住みよい堺をつくらうということで、大阪、堺以外の他府県から来た面々で、いろんな県人会でやっております。メンバーに大毛さんも入っております。それで、11月3日に初めて県外のもともとの故郷の物産展をやろうということで計画しているんですけども、堺のほとんどが直接か間接かは別としてお父さん、お母さん、おじいちゃん、おばあちゃ</p>

	<p>ん、あるいは直接ダイレクトに今現在堺におると、そういうなのを入れますと半分以上は地元の人じゃなくて、外から来た人が半分以上になっていると。そこへ少し郷土愛という意味の差があるような気がするんです。</p> <p>我々は、私は兵庫県から来て、もうこの堺で骨を埋めようと。じゃあ、おもしろいまち堺にしてみたいな、あるいはおもしろい町に住んでみたいなということで、そういう県外活動をやっています。NPOで第二のふるさと、そういうかたちで活動しています。</p> <p>話は飛びますけど、ふるさと納税にしても堺のふるさと納税の額というのは非常に少ない。ということは今、こじつけかもわかりませんが、郷土愛は薄いん違うかなと。私も少しだけですが自分の育ったところにふるさと納税しておりますけど、堺は人口が83万人、84万人いるなかで、当然その人たちは堺に住んでますけど、そこから出た人も相当数おられるわけです。小さなまちでもふるさと納税が多く集まっているところもある。泉佐野なんかは特に125億か130億、あれは返礼品が高かったというのがありますけど、だけど、たとえ5,000円でも1万円でもしようかという気持ちがあるかないかということだと思う。そういう郷土愛という意味で、現実に堺に住んでる人の大半は、外から来られたというのもある。あるいはここで、おじいさん、おばあちゃん、ひいおじいちゃんも堺でずっと育った、その人なりの考えの、あるいは動きの格差があるんじゃないかなと。その辺もしっかりと今後どうしていくかということが大事なんじゃないかと思えます。</p> <p>以上です。</p>
岡田会長	<p>ありがとうございました。</p>
	<p>それでは、淵上議員よろしく申し上げます。</p>
淵上議員	<p>淵上です、よろしく申し上げます。</p>
	<p>最初の皆さんの意見交換の途中からでしたけれども、楽しく、興味深く拝聴させてもらいました。</p> <p>特に、松壽委員さんのいろいろなご提案も含めた分析、興味深く聞かせてもらいました。ママチャリレースいいですね。静岡の富士スピードウェイ、あそこはママチャリレースをやってるんですよ。私の友人が大勢で毎年参加していて、本当のサーキットやってるあそこでママチャリが疾走してる絵というのはめちゃくちゃインパクトがあり</p>

ます。あんなことが堺でできたら、もちろん町中でできたらいいなと思いました。

また、愛着云々、思ったより愛着がそれほどでもないんだよという話、それを踏まえて施策というか、アプローチの仕方を変えなきゃいけないというのはその通りだと思いますし、全体としてはそんなもんなんだろうなとデータを見て思いましたし、むしろ南区なんかはもっと低いんじゃないかなという感覚を私は持ちます。

逆に上村議員さんも指摘されてましたけど、堺区はもうちょっと高く出るんじゃないかななんて思ってまして、一度市民意識調査とかで区ごとに分析しはったらいいと思いますし、まさにこの区民評議会の場というのは区ごとで特徴を生かしたまちづくりをするというのが大きな目標ですから、そのあたりぜひ皆さん方の議論に反映させていただきたい。まずは、データを市としても積極的にとってもらいたいなと思います。

ホスピタリティの話ですけれども、この子ども観光ガイドもいいですね、私も聞きに行きたくなりましたし、ぜひ大仙小学校だけじゃなくて広く公募していただけたら、うちの子もやりたがるん違うかなと思って見させてもらいました。

以前、川上さんが、どこでおっしゃられたか忘れたんですが、区民評議会だったかもしれません。印象に残っているお話があって、観光ガイドされた方で堺よかったよかった、どこがよかったという話の中で、挨拶してくれる子どもが多かってんみたいな話がありましたよね。これ本当に私は印象深くて、お寺とか名所旧跡じゃなくて、挨拶している子どもが多いことがよかったと。いわば、そのまちのホスピタリティに感動されるということです。私も学生時代バックパックでいろんなところを旅するのが好きで、50カ国ぐらい旅したんですけども、自分が行ったまちや国を思い返してどこがよかったかなって考えてみました。すると間違いなくホスピタリティで、まちを歩いてても人々が声をかけてくれたり、笑顔で挨拶してくれたりというそういうところが、いいまちやな、好きやなって記憶にあるんです。おっしゃられてたのはそのとおりだと思います。

その中で1つ、私なりにここで何とかしてほしいなと思うのが、茶の湯条例です。茶の湯条例はまだ明日の議会で議決なので決まってませんけれども、ぜひ、これは条例があることが目的じゃないので、ぜひこういうものを、ホスピタリティを生かしてほしいと思うんです。

国によっては、私の好きなトルコなんて、商店街を歩いてたら、ち

	<p>よっと茶飲んで行けといっぱい声かけられるんです。軒先でお茶飲んで別に物買わなくても、いろいろな話をしてもてなしてくれる。こんなことが茶の湯条例制定で銀座商店街とか山之口商店街を歩く人が軒先でちょっとお茶一杯飲ませてもらえて、何軒か歩いたらまたそこでも飲ませてもらえてお話してなんていう、そんなまちがあっても楽しいんじゃないかなと思ったりしますし、ぜひ、条例を機にそんな企画を積極的に堺区のほうでやっていただけないものかなと思ったりしております。</p> <p>以上です。</p>
岡田会長	<p>ありがとうございます。</p> <p>いろいろご意見いただいたところですが、それでは、区民評議会の委員の皆さんから伺った意見を踏まえて何かお話があればよろしく願います。</p>
湯川委員	<p>湧上議員がおっしゃっていたみたいに、やっぱり区によって全然違うというのがすごくあって、堺市ってまとめてしまうと丸くなってしまいうるか、歴史に誇りを持っていらっしゃるというのは堺区ですごく感じるので、堺区だけで見るとかなり上位に上がってくるんじゃないかなと感じました。ただ、他の区も堺じゃないのかというところなので、それぞれの良さというものももちろんあるのかなとは思いますが、そのあたりは区民評議会では何かそういう区ごとの感じることなどを比較するのもすごくおもしろそうだなと聞いていて思いました。</p> <p>素朴な思いなんですけども、堺区の選出市議会議員ということは、みなさんかなり堺のこと大好きな方たちですよ。子ども時代どういうエピソードがあったのかとか、どういうきっかけがあったから、堺市、言うたら変えたるぞぐらいの感じで議員さんになってらっしゃるので、すごいそういう意味では郷土愛がかなり高いのかなと思っています。私はそこまで覚悟ができないというか、堺のために何かやりたいなとは思ったけどちょっとNPOどまりってところがあるので、今日みなさんにお話を聞くとかなりエピソードが長くなってしまいそうなのですが、そのあたり、みなさんが議員にまでなって堺を盛り上げていこうとか、堺のためにと思っいらっしゃる人たちがどういう子ども時代を過ごし、どういうご経験があるのかなというのは話をお伺いして、すごく素朴な疑問というか、何か別の席でお話をお伺いで</p>

岡田会長	<p>きたらと思いました。 ありがとうございます。</p> <p>エピソードは聞かなくていいですか。 例えば渚上議員はどうですか。</p>
渚上議員	<p>私は堺区に生まれて堺区で育って、それも堀の中でという私の誇りなので、誇りというかいつもこんな話をするんです。堺区の中でも恐らく堀の中で生まれ育った人って、また違うんじゃないかなって思います。おまえは堀の中で育ったから応援したるみたいな人もいますよ。そのくらい、そこはまた違う意識があるんじゃないかなと想像します。</p> <p>私自身が堺のことを好きになったのは何でかなと思えば、小学校のときの「わたしたちのまち堺」という教科書、教材があったんです。あれをすごく思い出します。小学校の3年か4年ぐらいですか、常にあれが机の上にあります。小学校の教育って大事ですよ。</p> <p>それとあと、堺かるたです。小学校で始業までの、朝来て1時間目始まるまでの15分ぐらい遊びの時間があったんです。そのときに堺かるたを結構な頻度でやってまして、あれ見てたら自然と何か、堺だけでかるたが作れるって堺ってすごいなと。内容はよくわからなかったですよ、子どもだから。古墳がでかいだのなんだのとかなんかのものもありますし、今になってようやく、これはこういう歴史やったんやっわかるものもあるんですけども、とにかく何かすごいまちなんやということだけがすごく刷り込まれました。私はその辺が大きかったんじゃないかなと思います。</p>
岡田会長	<p>まだお時間あるので、我こそはという議員の方。 いかがでしょうか。それでは上村議員お願いします。</p>
上村議員	<p>私はもともとは西区で生まれまして、議員になってから堺区に来たので、この堺区に来たときに、本当にまちのことが大好きな人がこんなにいるんだなというのはとてもここに来て思いました。堺が本当に好きなのかって言われたときに、どちらかという堺にいるときは全く何も感じなかったんです。堺から外に出たとき、大阪府に行ったときとか東京に出たときに、自分のまちどんなんやっって聞かれたときに、自分のまちってこういうまちなんやっってやっぱり言いたいし、皆</p>

<p>岡田会長</p>	<p>さんに知ってもらいたいという気持ちがあったときに、やっと自分のまちをもっと知らねばと、もっと知ってほしいなというのはそこで感じたのが私の実感です。</p> <p>ありがとうございます。</p> <p>それでは、区民評議会委員の中でも堺東商店街が好きな矢本委員。お願いしたいと思います。</p>
<p>矢本委員</p>	<p>ありがとうございます。</p> <p>お伺いしていると、本当に人それぞれなんだなと思って。郷土愛って考えたときに私が思ったのは、やっぱり子どもって感受性が強いので感化されやすいとか、ちょっと教育するとすぐ持てるのかなど。恐らく私も、実はそういう小学校のときの記憶があまりなくて、堺にいたので堀の外ではありますが、堺区だったんで教育されてた記憶はうっすらあるんですけど、何が何か全く覚えてないです。それで大人になったときに全くそういう郷土愛って、実は持ち合わせてなかったです。地元愛とかもなかったです。</p> <p>私の場合は商店街で会社興して地域といろいろ関わっている中で、どんどんどんどん作られていったとか、何か地元いいよねと、地に足がついた気がして、たくさんいろんないい人いてるよね、堺はすごいまちのこと思ってる人多いよね、これは素敵やなと思って自分はどっぷりはまってしまいました。</p> <p>どうすれば郷土愛を醸成できるのかなと思ったときに、先ほどもふれたように子どもというのは感受性が強いので、そのときの教育というのがやっぱり大きいんじゃないのかなって思うんです。逆に私みたいなのは珍しくて、大人になって地元に戻ってそこから急にすごい郷土愛持ったなんてあまり聞いたことがないので、そう考えると比較的時間がかかるものなんだろうなと、郷土愛の醸成って時間がかかるものなんだろうなと。であれば、場合によっては10年先、20年先を見越しているような教育のプログラムだったり、そういうものにふれる仕組みを作っていくとかなかなか一朝一夕に醸成できないものだなと、これってすごく難しい問題だなというふうに私は思いました。</p> <p>ただ、でも、できることから、小さなことからでも取り組んでいけば必ずや近い将来にはそういう郷土愛を持った、またホスピタリティというのはどこのまちでもできることなんだろうなと思います。そこに取り組んだところのまちが結果的には、今、そういうような郷土愛</p>

	<p>があったり、ホスピタリティあるまちって言われてるんじゃないかなと私は推測しました。</p> <p>以上です。</p>
岡田会長	<p>ありがとうございました。</p> <p>北野委員、何かありますか、今の商店街のこと。</p>
北野委員	<p>山之口商店街はどんどんお店がシャッターを閉じていって、それをどうしたらいいかということをここ20年ずっとやってきてるんですけど、なかなかシャッターを閉める速度と新しく開けていただく速度がうまくかみ合わないということで、大きな問題を抱えていて、これは全国的なことだと思うんですけど、残った人たちが懸命にいろいろやっております。</p> <p>イベントをするとたくさん人が、本当に、この間は矢本さんありがとうございました、貴志さんも来ていただきましてありがとうございました。すごくたくさん来てくださるんですけど、なかなかそれが日常の買い物とか日常の人通りには結びつかなくて、それは本当に大変な問題だと思います。</p> <p>山之口商店街がにぎやかになったらあの地域ももうちょっとにぎやかになるかなと思うんですけど、努力を続けていくしかないなということなんです。</p> <p>私が思うには、堺はもちろんたくさん資源があって、それを違う切り口で新しく見ていくということも大事だけど、全く新しいことをやってもいいんじゃないかと思います。2年ほど前にアルテポルト黄金芸術祭というのをやったんですけども、大成功とはいかなくていっぱいいろんなところに迷惑をおかけしたりして。ただ、やったことに対して後悔はなくて、やっぱり磨きながら継続して何かやっていかなくちゃいけないと。私の場合はアートを通じて何か堺を活性化していきたいという思いがあるんですけど、その中で私が一番感動したのはボランティアの方々が、堺にこんなアートを通じたイベントしてくれるなんてなかったことなので、ぜひボランティアに参加したいと言ってくくださった方が大勢おられて、だからこれを何かもうちょっと生かす道があるのではないかなとそのとき感じました。</p> <p>例えば、古墳だったら古墳をテーマにすごい新しいことできないかなと。単に観光してそこを見るだけじゃなくて、古代史とかロマンとか結びつけて何かできないかなとか感じてます。茶の湯に関しても私</p>

	<p>のところのギャラリーは来るお客さんの9割ぐらいの方にはお茶をずっとこれまでもお出しして、私が夏は麦茶をたいて冷やして用意してということをしてきました。それはどこのお店でもできないことではないと思うので、明日からでもできることなので、要はみんなの意識徹底みたいなことがあると思います。</p>
岡田会長	<p>礎塚委員。若い意見はどうか、お願いします。</p>
礎塚委員	<p>若い意見というか、さっき湧上さんのお話を聞いてても、「わたしたちのまち塚」というのは私の小学校時代の教科書でもありましたし、あと今、大学は和歌山へ通っているんですけど、そこで大阪出身、じゃあどこって聞かれて塚ってなったときに、じゃあ塚っ子体操とか知ってるんちゃうんとか、子ども時代に取り組んできたことが代表としてそれをテーマに話を広げていったりというのがあるので、子どものときの影響力というのはとても大きなものなのかなと感じます。</p>
北野委員	<p>今もやってるの。</p>
礎塚委員	<p>塚っ子体操、私のときは小学校の連合運動会でみんなが踊る踊りで、テレビにも取り上げられてそれで話題になっていました。</p>
岡田会長	<p>ありがとうございました。 もちろん僕も塚っ子体操やりました。いまだに根に持ってるのが、「はとぶえ」というのがあってそこに作文や絵を載せてもらえなかったことに傷ついていたりします。いろいろと小さい頃の思い出というか、それこそ塚かるたもそうですし、かるたの絵に南蛮人の絵があって、塚区の中にこんな人おるんかなと、僕は南区だったので、そんなん思ったりだとか、たくさん思い出があります。</p>
礎塚委員	<p>学校の校区にもかるたありますよね。私は今、少林寺小学校の学童保育に携わってるんですけど、そこにも少林寺かるたというのがあって、そこで子どもたちとやって、少林寺の校区ってこんなところがあるんやって知ったりします。</p>
北野委員	<p>大和川かるたもありますよね。</p>

<p>岡田会長</p>	<p>かるたって結構影響力ありますね。 何か、議員の皆様からご意見というか、今の委員の話をお聞きになってご意見ありましたらお願いしたいんですけど、いかがでしょうか。 どうですか。井関議員。</p>
<p>井関議員</p>	<p>やっぱり個人の体験というのが大きいですね。 僕の場合は4歳か5歳ぐらいのときに仁徳陵を一周してみようと、三国ヶ丘の向陵中町で生まれたので、一人で5歳か何歳かも覚えてないんですけど、仁徳陵を一度一周してみたいなと思って一周したのが一番の子どもの頃の堺の印象です。 湧上さんが堀の中、僕は7歳で南区に移ってるんで、堺区は7歳までなんですけど、でも7歳児にして感じてましたね。堺区ではあるけど堀の外というのは感じてました。だからそこはちょっとね、あまりいい印象じゃないんです。そこがあるんです僕に。だから、どうしてもみんなが来れるように、いいとこなんやけどあまりそれを強調し過ぎると疎外感を感じるんですよ。だから、そのふわっとまとめて頑張ってる人がいるという状況にしてほしいという根本的な欲求みたいなのがありまして。 その後、南区に行くとやっぱり堺色というのは薄い。中学校卒業まで南区で育ったんですけど、そうするとやっぱり堺区のほうがおもしろいです。というのは、やっぱりいろんな人がいて、榎校区だったら祭りもあるんですけど、南区だとちょっと刺激が薄いんで、堺区のほうが僕は好きです。 だけど、できるだけ濃いけどいろんなところから来てほしいというのが素朴な思いなんです。その後、高校行ったら兵庫県やし、大学は東京ですし、会社員は九州ですけど、そういう他都市の人々に堺の印象ってないですね。神戸の高校でもほぼないですよ、堺の印象って。ほぼ大阪のベッドタウンというだけで、東京まで行ったらあまり大阪市に隣接してるのも知らない、岸和田と同じイメージ。九州までいくと関西自体がマイナーで、関西の人は話しやすいよねというけど、ビジネスに関西弁使うわけにはいかないと。それだけでやっぱりなかなか他人にもものを頼んだり、いろんなビジネスのコミュニケーションすることが既にマイナスのバイアスがかかってしまうという状況に、もちろん企業、業種にもよりますけどね。自分のいた会社だったら東京本社ですし、官公庁への納入が多いのでそういうことになるんですけど、それぐらい場合によっては不利になるので。</p>

	<p>逆にいいところもありますよね。アメリカでいったらカリフォルニアとニューヨークみたいなもので自由な感じはあるし、そういう部分を生かしていくようなことを、行政とかもっと大きい目線ではそれが育つような土壌をつくってあげるほうがおもしろいような気がするんですけどね。</p>
岡田会長	<p>ありがとうございました。 そんなに堀の内と外であるんですね、意識が。</p>
淵上議員	<p>私、この場でそのテーマだったから言っただけで、ふだんから言いまくって排他的なオーラを出したいわけでは決してありませんので。</p>
西村議員	<p>私も40年ほど前に堺に来て、それまで神戸とか大阪とか、仕事上はもっとあちこち行ったけど、堺の第一印象は何と排他的なまちやな、です。</p>
淵上議員	<p>それはそうかもしれません。</p>
西村議員	<p>はっきり言ってこれが第一印象でしたね。 それと、いいように言えば堺で商売されている方、大企業は別として、商人のプライドが高い、いわゆる意志が強いというたらいい。よくいろんな団体で話したりするときに、こういう業界の団体がありますと。この団体で上位の人は上におれば満足してるんです。業界自体が下がってきても自分が一番やったら満足してる。そうじゃないでしょうと。堺東商店街のところでも講演させていただいたりしたんやけど、この中で一番下でも、この業界自体が上がったらトップクラスになるやないかと、堺の人はそういう考え方は持ってないね。要は横見て、だから今までは100人従業員が、事業はどんどん落ちてきて50人でもうちがトップやったらトップでいいんだと、そんな感じです。 今の発想のもののが考え方がちょっと我々と違うなと思ったのは、我々は一番、今現在、この団体でこの業界の中で一番下でもこの業界が上げればトップと同じやないかという考えで我々仕事してまいったんで来ました。 そういうところが非常に、排他的なまちやなど。それと何か、しょうもないプライドを持ってる商売人が多いなど、それがこの堺の第一印象です。今は、慣れてしまっていてわかりませんがね。</p>

岡田会長	<p>ありがとうございます。</p> <p>そろそろ時間も迫ってきましたので、ミスター郷土愛の醸成の川上副会長。最後にいただきたいと思います。</p>
川上副会長	<p>今のお話、確かにそうですね。そう感じました、私も。</p> <p>私自身、郷土愛はすごくあります。ありますが、今の協会に入るまでは何にもなかった。堺が嫌いでもない、好きでもない、だから興味が無いということです。ガイドを始めて半年ぐらいで一気に堺がいいところやなって思いました。やっぱり知ることです。知ったからなんです。深いところまで知ったから、それをお客さんにご案内したら、他府県、よそから来た人あるいは堺の人でも、「堺ってすばらしいな」「すごいまちやな」って耳にタコぐらい聞くようになりました。</p> <p>最近ちょっと変わったのが、「堺の人って親切やね」という言葉がよく出るようになりました。今年になってよく出るんですよ。ひょっとしたら山之口商店街、北野さんところや、あそこの時計屋さんも関係してるかもわからない。誰も関係ない人を呼び込んでお茶を出して話をする、そういうところがだんだん堺にも出てきたのかなと。</p> <p>それと先ほど渚上議員が言われた挨拶の件、これいまだに続いていますね。私は今日のような服着とったら割と誰かわからんけど、小学生が来て「こんにちは」ってニコニコしてくれるんですよ。そこで私が「誰やったかな、どっかでお会うたかな」って言うたら「会ってない」って言う。そういう教育がやっぱりできてきたんだと思います。</p> <p>今、実施している郷土愛醸成の大仙小学校の子どもガイドの例ですが、私は実はこれを過去によそで経験したんです。よその県のあるまちで小学生にいきなりつかまれて、だーっと案内されたんです。それは田んぼの中に時計がある、その時計の話だけで20分ぐらい案内されました。「何してんの」言うたら「うちの学校みんな誰でも案内できるよ」と言うから、あっ、これかと。彼らは自分のまちの野良時計に誇りを持ってるとやなど。その経験があったから区民評議会でもこの話をして、今、実現しかけてるんです。そういうことで、まずは地元を知ること。知ることっていっても大人は悪いところを先に知る傾向がありますが、そうじゃない、良いところをまず探しながら、それを知って子どもたちに誇りを持ってほしいなと思っています。だから、たまたま大仙小学校、自分の校区に世界一のものがあるなんてこんなところめったにないです。この前は6年生、今度は3年生。3年生っていいんですよ。よその学校で経験していますが、3年生は非常にきちっ</p>

<p>岡田会長</p>	<p>とやります、6年生よりも純粹に物を捉えますので。11月のガイド本番、ぜひ成功させたいです。まずは知ることがキーだと思います。</p> <p>ありがとうございました。</p> <p>では時間もまいりましたのでこれで終了とさせていただきたいと思 います。今日は忙しいなか議員の皆様、また委員の皆様を活発な議論 いただいてありがとうございました。</p> <p>それでは事務局のほうにマイクを返したいと思 います。</p> <p>3. 堺区選出市議会議員と堺区区民評議会委員との意見交換 会 閉会</p>
<p>西本区長</p>	<p>堺区選出市議会議員の皆様、また、区民評議会委員の皆様におかれ ましては、お忙しい中、お時間を頂戴しまして貴重なご意見をいただ きました。</p> <p>堺区としたしまして皆様のご意見を踏まえまして、区民評議会の議 論がさらに充実したものになるよう、そして区民評議会のテーマでご ざいます、住んでよし、働いてよし、訪れてよしの堺区の実現に向け、 進めてまいりたいと思 いますので、引き続きご支援、ご協力のほどよ ろしくお願 いいたします。</p> <p>本日はどうもありがとうございました。</p>